

元気なまちへの第一歩

～住民と築きあげる実践型まちづくり～

a2200509 大竹 裕美・a2200513 亀田 由季子・a2200517 小松 美菜子
a220021 佐藤 麻衣・a2200523 高橋幸子

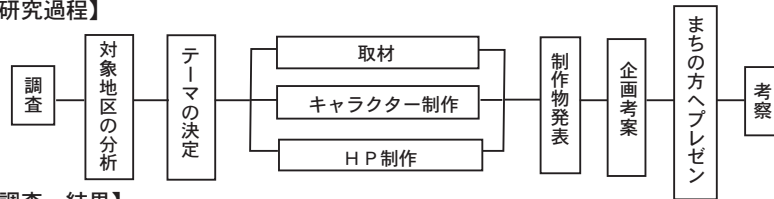
【背景と目的】

私達は2年間会津若松でデザインを学び、会津が歴史・文化のある素晴らしい町であると感じました。しかし、歴史・文化を生かきしめず、寂れていくまちの姿も多く見られます。そこで会津ならではの資源を生かし、人と人との交流を深め次世代に受け継がれるようなまちづくりをしたいと考えました。

研究の第一歩として、景観条例に基づいた景観協定を締結した地区を見て回り、対象地区として博労町を選びました。その理由は、博労町は一早く協定締結や町並み会などの取り組みを始めたものの、魅力がうまく表現できていないのではと感じたからです。

そこで私達は、まちの魅力をもっとアピールして博労町の活性化を手助けすることを目的に研究を進める事にしました。

【研究過程】



【調査・結果】

1 対象地区選定のための現地調査

景観協定締結地区 13ヶ所中比較的学校に近い6ヶ所を調査
(蔵しっく通り・野口英世青春通り・七日町通り・博労町通り・融通時通り・ふれあい通り)

調査を元にした各地区の比較 (KJ法)・対象地区の決定

各地区のまちの様子や道路は整備されているのかなどを比較した。

これらの事から、整備やアピールがあまり上手くない博労町を対象地区に決定した。

2 調査を元にした対象地区の問題点の整理

KJ法によって抽出された問題点を以下の3つに分け分析

- ① 広報
 - ・町案内のパンフレットなしでは店が分からない
 - ・広報が少ない
 - ・イベントが少ない
- ② 外観
 - ・道路が一方通行 (道路が整備されていない)
 - ・緑がない
 - ・店の外観に統一性がない
- ③ 店
 - ・客を迎え入れる活気がない
 - (店に入りづらい、店内が暗い、賑わいが無い、やっているのか分からない)

3 住民への取材・代表者への取材

前代表者への取材…博労町の歴史、景観協定締結のきっかけ

現代表者への取材…今までのイベントの内容、今行っている対策、お店と住民のバランス

【支援事業】

- 町のアピール キャラクター制作、HP制作、
- 住民の融和 美化活動計画 (ゴミ拾い、緑化活動)
- 商業発展活動 看板設置計画、スタンプカード計画
- 活動のピーアール イベント参加、まちの人へのプレゼンテーション

【コンセプト】

- ・他の町とは違ったオリジナルなまち
- ・住民とお店の人たちが協力し合うまち
- ・また両者が住みやすいまち
- ・緑のあるまち
- ・歴史を感じさせるまち

【支援事業の結果】

1 キャラクター制作

(目的)

- ・統一感を出すため ・町並み会に協定している18店舗を対象にキャラクターを制作
- ・親しみを持ってもらうため ・統一性を持たせるために、博労マークをキャラクターに配置
- ・子供達が博労町に興味を持つように
- ・他の町にはないオリジナル感溢れる商店街 (通り) になるように



(結果)

イベント時に、子供達にはキャラクターに親しみを持ってもらえたように感じました。これからのような方法でキャラクターとお店をリンクさせていくかが課題であると思いました。

2 HP制作

(目的)

- ・博労町を知ってもらう方法がなかったので、インターネットを通じて幅広い人に博労町を知ってもらうためにホームページの作成をしました。
- ・住民の方にも自分たちのまちについて興味を持ってもらいたかったことから、博労町に密着した内容にしました。

「お知らせ」では、イベントの情報、私達のコマなどの最新の情報を掲載しています。

昔博労が住んでいた、と言う歴史から馬を使い、博労町のキャッチコピーである「振り向けば鶴ヶ城」を入れました。

博労町の様子、藩公行列の様子を絵で表し、動画にして動くようにしました。

博労町の歴史と未来

お店紹介

キャラクター紹介

振り向けば鶴ヶ城

博労ギャラリー

博労占い

リンク、アクセス、お問い合わせ

(結果)

新聞に掲載されるなどしてアクセス数をのばす事が出来たので、たくさんの人に博労町を知ってもらう事ができました。

3 美化活動計画

(目的) ・町を華やかにするため

- ・道路の境を明白にするため
- ・活動を通して住民間のコミュニケーションをはかり、防犯などにつなげるため

(計画内容)

ゴミ拾いを行った後、道路の白線部分に沿って花を植えたプランターを置く

(活動予定日) 平成 18 年 11 月 2 3 日

応募者数：約 20 人

(活動内容)

美化活動の内容を回覧板を使い住民の方の参加を募りました。

(結果) 以下の点から今回は中止となりました。

- ・白線に沿ってプランターを置く事は危険である
- ・冬に花を植えても雪が積もって台無しになってしまう
- ・住民の方から理解が得られなかった



現在の博労町



プランターを置いたイメージ図



最終的な理想像

4 スタンプカード計画

(目的) ・スタンプをためることでリピーターを獲得する

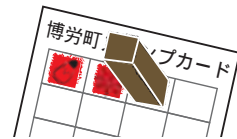
- ・まちの店全体にお客様が集まる仕組みをつくる
- ・まちの店全体が加盟する事によってまちの結束を深める

(スタンプカード計画の仕組み)

お客様に商品を買ってもらい、500円ごとに1つスタンプを押す。お客さんにスタンプを集めてもらい、ポイント数に応じたサービスと交換する。

(結果)

お店によって提供する商品が異なるため損得の差が生じてしまうため、中止となりました。



5 (商店統一看板) 設置計画案

(目的) ・博労町の商店に統一感を持たせる

- ・歴史感漂うまちを表現する
- ・まちの住民や観光客のまちを通る際の楽しみの一つになり得る



<看板サンプル・イメージ図>



看板合成写真

6 博労町でのプレゼンテーション ～みんなでやっぺ まちづくり～

■ 12月23日(土・祝) 11時30分～1時30分 場所 / 山葵

参加人数 / 博労町町並み会 会員7名

私達の研究成果の発表、まちの方との意見交換を行い今後についても話し合いました。

<プレゼンテーション内容>

- ・キャラクター制作
- ・ホームページ制作
- ・企画案(美化計画、スタンプ計画、看板設置計画)
- ・ホームページ移行案

<その他>

- ・アンケート
- ・意見交換

プレゼン風景→



■アンケート結果(一部)

	はい	いいえ	無回答
・ホームページをご覧になりましたか。	2	4	1
・毎月20日に更新していましたが毎月ご覧になりましたか。	0	6	1
・内容は充実していましたか。	2	2	3
・キャラクターは親しみやすいものでしたか。	6	0	1
・キャラクターを使用してみたいと思いましたか。	6	0	1
・看板を設置してみたいと思いましたか。	7	0	0
・看板のデザインはまちの雰囲気合ったデザインでしたか。	7	0	0
・看板は親しみやすいデザインでしたか。	7	0	0
・今回の研究発表で以前より「まちづくり」に関心を持つようになりましたか。	7	0	0

ホームページを作るだけでなく、どうアクセス数を増やしていくかが今後の課題になると思います。また、意見交換の際に看板設置によるいろいろな活用方法を提案していただきました。

【考察】

私達は5人で卒業研究を行ってきました。当初は別々の制作物を考えていましたが、その内容が「まちづくり」と言う一つのテーマに繋がりました。グループでの活動だったので、多種多様な意見が出る事もあり、内容がまとまらない時もありましたが、そう言った意見交換の中でお互いを高め合う事もできました。何よりも5人で計画的に活動を進める事が出来た事は、研究を充実させることに繋がった大きな利点だったと思います。

半年間、まちの活性化に繋がるような活動を提案してきましたが、人と人が関わり合う内容だったので、意見を出す事や、話を聞く事の大切さを改めて実感できました。

また、まちに住む方、まちを訪れる方に興味を持ってもらえる方法を考える事がまちづくりで一番難しい点だと思いました。

私達は、自分達の研究が博労町活性化の起爆剤になったら思い活動して来ました。今後、住民の皆様と商店の皆様が博労町に興味を持ち、互いに協力し合い、次世代まで受け継がれるようなまちづくりを行って頂けたら幸いです。私達も、今回の経験を今後多方面で生かしていきたいと考えています。